

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 PALTEK

コード番号 7587 URL <http://www.paltek.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢吹 尚秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役オペレーションサービスディレクション本部長 (氏名) 井上 博樹

TEL 045-477-2000

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
26年12月期第2四半期	11,677	53.6	418	△6.2	389	△13.4	228	△11.7
25年12月期第2四半期	7,602	16.3	445	—	450	—	258	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 228百万円 (△12.4%) 25年12月期第2四半期 260百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	19.99	—
25年12月期第2四半期	22.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
26年12月期第2四半期	11,888	8,410	70.7
25年12月期	10,886	8,274	76.0

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 8,410百万円 25年12月期 8,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	23,500	33.4	640	△17.2	660	△15.6	390	△12.1	34.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社テクノロジー・イノベーション、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	11,849,899 株	25年12月期	11,849,899 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	430,937 株	25年12月期	430,937 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	11,418,962 株	25年12月期2Q	11,420,405 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要とその後の反動減により一時的に弱含んでいるものの、雇用環境や賃金の改善が見られること、企業収益の増加を背景に設備投資が持ち直しの動きを見せていること等により景気は回復基調を継続しております。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、民生機器は競争激化により低迷しておりますが、スマートフォン普及に伴う通信キャリアの基地局増設投資が堅調に進み、また自動車販売の好調を背景に車載向け機器が伸びを見せました。

このような事業環境の中、当社グループは、半導体事業においては通信インフラへの投資が堅調なことを受けFPGA(※1)や特定用途IC、複合機等のオフィス機器向けの汎用IC及び計測機器向けのFPGA等が好調に推移したため、売上高は大幅に増加いたしました。デザインサービス事業においては、医療機器向けの設計受託及びODM(※2)が堅調に推移いたしました。また、連結子会社の株式会社エクスプローラが次世代放送で使用される4K映像に対応したH.265コーデック装置を、2014年第3四半期の販売開始を目指し開発を進めておりました。しかし、顧客獲得のため営業活動を実施する中で、顧客からの意見を製品開発に活かすことが必要であると判断したため、製品開発に時間を要している状況であります。このため、開発中のH.265コーデック装置の販売開始時期を2014年末に延期することを決定しました。

この結果、売上高につきましては116億7千7百万円(前年同期比53.6%増)となりました。営業利益につきましては、売上高は大幅に増加した一方で、売上総利益率が前年同期よりも大幅に低下したこと、販売費及び一般管理費がH.265コーデック装置開発のため増加したことにより、4億1千8百万円の営業利益(前年同期比6.2%減)となりました。この売上総利益率の大幅な低下は、次の3つの要因によるものです。一つは、前年同期においてドル円相場が急激な円安に進行したことにより、当社が仕入先に対して保有する仕入値引ドル建債権の評価額が大幅に増加し、原価を2億5千5百万円押し下げたため、売上総利益率は上昇しました。反対に、当第2四半期連結累計期間においてドル円相場は大きく変動しなかったため、仕入値引ドル建債権の評価額は3千1百万円若干減少し、売上総利益率を低下させましたので、当第2四半期連結累計期間の売上総利益率は前年同期に比べ大きく低下しました。二つ目の要因は、半導体事業の売上が大幅に増加したことにより、利益率の高いデザインサービス事業の売上構成比率が低下したことによるものです。そして三つ目の要因は、半導体事業において売上総利益率の低い案件の売上高が増加したことです。これらにより売上総利益率は21.0%から14.2%に低下しました。

また、経常利益につきましては、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)からのH.265コーデック装置開発の助成金として補助金収入3千2百万円を計上した一方で、為替差損3千3百万円を計上したこと等により3億8千9百万円の経常利益(前年同期比13.4%減)となりました。四半期純利益につきましては2億2千8百万円(前年同期比11.7%減)となりました。

(※1) FPGA(Field Programmable Gate Array) :

PLD(Programmable Logic Device)の一種であり、設計者が手元で変更を行いながら論理回路をプログラミングできるLSIのこと

(※2) ODM(Original Design Manufacturing) :

発注元企業のブランドで販売される製品を設計するだけでなく、製造も行うこと

(2) 財政状態に関する説明

① 財務状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億1百万円増加し118億8千8百万円となりました。これは主に未収入金が減少した一方で、現金及び預金、商品が増加したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ8億6千4百万円増加し34億7千7百万円となりました。これは主に短期借入れを実施したこと、支払手形及び買掛金、未払金が増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億3千6百万円増加し84億1千万円となりました。これは主に配当金の支払いを実施した一方で、四半期純利益を計上したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、8億6千9百万円増加し、20億6千7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、たな卸資産が増加した一方で、税金等調整前四半期純利益を3億8千9百万円計上したこと、未収入金が減少したこと等により、6億4千8百万円の収入(前年同期は1億4千8百万円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主として平成26年6月に設立し、新たに連結子会社となった株式会社テクノロジー・イノベーションにおいて、事業譲受による支出が発生したこと等により、2千4百万円の支出(前年同期は1千3百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支出をした一方で、短期借入れを実施したこと等により、2億4千3百万円の収入(前年同期は5千2百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の連結業績予想につきましては、平成26年7月25日に連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成26年7月25日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、株式会社テクノロジー・イノベーションを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,198,732	2,067,997
受取手形及び売掛金	4,562,222	4,533,151
商品	2,258,154	3,016,228
未収入金	1,767,604	1,062,611
その他	494,974	607,522
貸倒引当金	△1,216	△1,207
流動資産合計	10,280,471	11,286,303
固定資産		
有形固定資産	152,348	141,285
無形固定資産		
のれん	9,042	20,837
その他	134,838	132,044
無形固定資産合計	143,881	152,881
投資その他の資産		
その他	310,374	308,021
貸倒引当金	△130	△130
投資その他の資産合計	310,244	307,891
固定資産合計	606,474	602,059
資産合計	10,886,946	11,888,362
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	759,136	916,590
短期借入金	880,000	1,230,000
未払法人税等	153,379	155,737
賞与引当金	40,325	51,322
その他	455,931	810,024
流動負債合計	2,288,773	3,163,675
固定負債		
退職給付引当金	37,407	40,956
役員退職慰労引当金	157,500	157,500
その他	129,016	115,291
固定負債合計	323,924	313,747
負債合計	2,612,697	3,477,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,339,634	1,339,634
資本剰余金	2,698,526	2,698,526
利益剰余金	4,435,612	4,572,563
自己株式	△199,525	△199,525
株主資本合計	8,274,248	8,411,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△219
繰延ヘッジ損益	—	△41
その他の包括利益累計額合計	—	△260
純資産合計	8,274,248	8,410,939
負債純資産合計	10,886,946	11,888,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	7,602,438	11,677,410
売上原価	6,007,878	10,024,030
売上総利益	1,594,559	1,653,379
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	495,604	478,117
貸倒引当金繰入額	16	△8
賞与引当金繰入額	28,495	50,859
のれん償却額	1,205	1,205
その他	623,478	705,059
販売費及び一般管理費合計	1,148,800	1,235,233
営業利益	445,758	418,145
営業外収益		
受取利息	36	25
保険解約返戻金	12,057	—
補助金収入	—	32,132
その他	9,627	1,876
営業外収益合計	21,721	34,035
営業外費用		
支払利息	1,229	5,225
為替差損	1,500	33,903
支払手数料	6,732	10,569
売上債権売却損	5,266	9,415
その他	2,729	3,350
営業外費用合計	17,457	62,465
経常利益	450,022	389,715
特別損失		
事業再編損	10,647	—
特別損失合計	10,647	—
税金等調整前四半期純利益	439,375	389,715
法人税、住民税及び事業税	41,494	151,295
法人税等調整額	139,386	10,117
法人税等合計	180,881	161,413
少数株主損益調整前四半期純利益	258,493	228,302
四半期純利益	258,493	228,302

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	258,493	228,302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,639	△219
繰延ヘッジ損益	111	△41
その他の包括利益合計	1,750	△260
四半期包括利益	260,244	228,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,244	228,041
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	439,375	389,715
減価償却費	22,562	27,230
のれん償却額	1,205	1,205
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	△8
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,526	10,997
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13,892	3,548
受取利息及び受取配当金	△36	△25
支払利息	1,229	5,225
為替差損益(△は益)	△75,493	△14,768
補助金収入	—	△32,132
事業再編損	10,647	—
売上債権の増減額(△は増加)	△397,769	29,376
たな卸資産の増減額(△は増加)	△903,997	△760,961
仕入債務の増減額(△は減少)	172,092	157,453
未収消費税等の増減額(△は増加)	527,449	207,199
未収入金の増減額(△は増加)	△5,976	717,031
前受金の増減額(△は減少)	△1,750	497
前渡金の増減額(△は増加)	△554	369
未払金の増減額(△は減少)	119,352	100,371
預り金の増減額(△は減少)	△14,671	△33,336
その他	9,076	△40,342
小計	△104,609	768,648
利息及び配当金の受取額	36	25
利息の支払額	△1,135	△5,219
補助金の受取額	—	32,132
事業再編による支出	△54,109	—
法人税等の還付額	24,744	136
法人税等の支払額	△13,746	△147,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	△148,819	648,040
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,358	△4,261
無形固定資産の取得による支出	△121,513	△7,129
資産除去債務の履行による支出	△18,784	—
投資有価証券の売却による収入	1,245	—
子会社投資の払戻による収入	117,101	—
事業譲受による支出	—	△13,000
その他	48,991	△300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,317	△24,690
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	350,000
自己株式の取得による支出	△4,008	—
配当金の支払額	△56,911	△91,296
リース債務の返済による支出	△4,532	△15,403
セール・アンド・リースバックによる収入	117,558	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	52,105	243,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	61	2,614
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△109,970	869,264
現金及び現金同等物の期首残高	1,739,109	1,198,732
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,629,139	2,067,997

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。